

十束刈は米六石八斗二升八合右田合六万
百三十一束二把刈は米五石四斗五石九斗に
米七合右田合一百五石九斗九十一とあり及
別本の事ハ驚きられハ略之帳面蓋紙一曰
慶長六年九月十九日進取組馬守判とあり
帳の末ハ白岩之帳簿五日記付江に右た
合日記小弐又た書目先右とあり与七郎出
算用吉田御右と和国金と里見傳と
帳ハ算用通沃と里見と税君代
能定とあり帳袋の上書ハ家上之御代

日野成帳袋とありは村村役人民初書と
とありその後元和九年酒井家ハ白井吉之
中世古書之書五人を以て市検地之後寛文
年中補従ふ所江上ノ形制ハ帳内記
元和九年ハ市検地帳内江上ノ形制ハ水帳
末文云寛文九己酉六月五日伊豆郡と
市永田市と小島七と三浦七と
とあり九月中申の日例年吹浦村の祓祓
祓祓獅子頭を渡一当所の参禮と云又祓
豆事より後の大庭を出一来りるに壬午